

～会計を通じて人に幸せを～

# Hirai's レビュー

2010年2月号 (No. 14)

**平井会計事務所 税理士 平井満広**  
 〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1  
 芝浦アイランドエアタワー1704号  
 電話:03-3452-7082 Fax:03-6303-3350  
 Mail:m\_hirai@hirai-ao.com  
 URL:http://www.hirai-ao.com/

## 会社の課題を総ざらい！ 実地棚卸の効果

モノを扱う商売には「実地棚卸」がつきものです。言葉は知らなくても「現物を実際に目で見て、数を数えて状態を確認する作業」ならご存知の方も多いと思います。手間のかかる大変な作業ですが、どんな目的があるのでしょうか。

### ◆決算書を作成する

会社は年に1度、決算書という書類を作成して外部の方に財産状態や経営成績を報告します。決算書には正確な在庫の金額を記載する必要があるため、実地棚卸を行います。

### ◆適正な数量を把握する

実地棚卸には「適正な数量を把握する」目的もあります。

#### 1) 実数が適正な場合

口頭で発注をしたが注文の登録を忘れた、モノは受取ったが受入の記録を忘れた、といった単純ミスのほか、社員が取引先と共謀し記録を改ざん(架空発注)している可能性があります。

#### 2) 記録が適正な場合

“あるべきはずのモノがない”ケースが一般的です。現場の社員が独断でモノを捨てたり使ってしまう、盗難や横領が発生した、社員が取引先と共謀しモノを横流ししている、といった可能性が考えられます。

### ◆適正な原価を管理する

実地棚卸によって実数と記録の差異が把握できると、原価を「販売数量に対応する部分」と「それ以外(=棚卸減耗損)」

とに分けて把握することができます。精度の高い原価管理を行うことで、価格決定の根拠としての信憑性が増します。

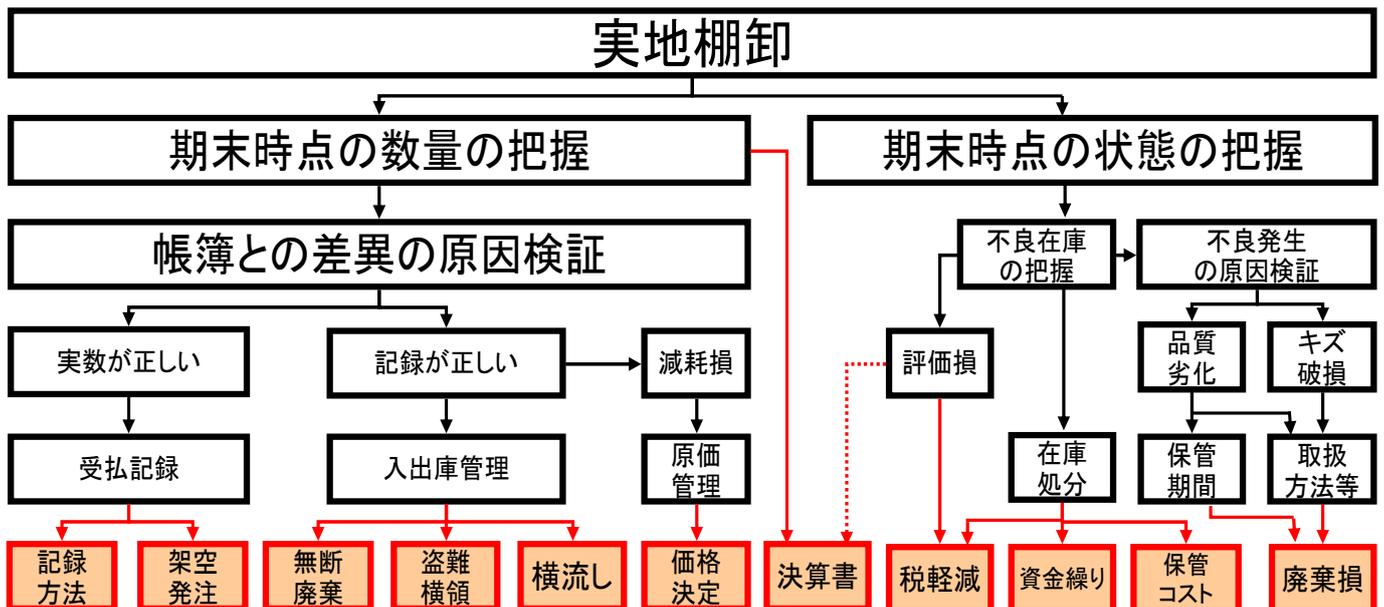
### ◆モノの状態を把握する

実地棚卸には、書類では認識できない「品質の状態を把握する」目的もあります。実際にモノを目で見ると、思った以上に品質劣化、キズや破損が進んでいることがあります。状態を把握することで「良品だからいつか売れるだろう」と考え、これまで保管していた在庫を処分することができます。販売できずに長期間滞留していた在庫を処分すれば利益を圧縮できて税負担の軽減やキャッシュフローの改善につながります。また、商品数量が減ると賃料などの保管コストの削減にもなります。さらに不良の発生した原因を調べることで、保管期間の見直しや取扱・保管方法の改善につなげ、在庫廃棄損を未然に防ぐこともできます。

### ◆実地棚卸の進め方

実地棚卸を行うと帳簿やデータ、書類では分からない問題を把握することができます。改善に取り組んで問題を解決すれば業績の回復や社員のモラルの向上にもつながります。実地棚卸に取り組もう！とお考えの方は『企業実務2010年2月号』(日本実業出版社)に掲載した「実地棚卸を進める勘どころ」をご参照いただければ幸いです。

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。不要の場合はご連絡ください。



☆ ホームページを開設しました。ぜひ一度ご覧ください！⇒<http://www.hirai-ao.com/>

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒[http://blog.goo.ne.jp/hirai\\_tax/](http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/)